

平成21年(2009年)12月期 決算説明会



コスモ・バイオ株式会社

2010.2.17

www.cosmobio.co.jp

JASDAQ
Listed Company 3386

目次



人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

1. 会社概要と事業の内容
2. 2009年12月期 決算の概要
3. 2010年12月期 事業計画

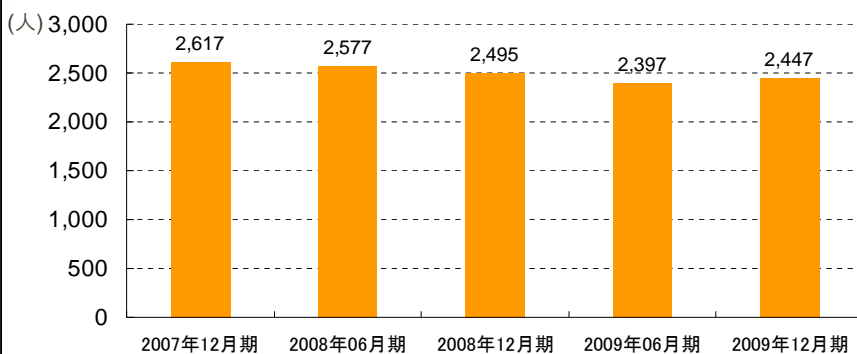
会社概要

社名: コスモ・バイオ株式会社
 業種: 卸売業
 証券コード: 3386
 本社所在地: 東京都江東区東陽2丁目2-20
 代表者: 代表取締役社長 笠松 敏明
 設立: 1983年8月25日
 事業内容: ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、臨床検査薬の輸出入および国内販売
 従業員数: 連結:82名 個別:74名
 連結子会社: 株式会社プライマリーセル
 非連結子会社: Cosmo Bio USA, Inc.
 持分法適用会社: ビーエム機器株式会社



株式の状況

株主数の推移

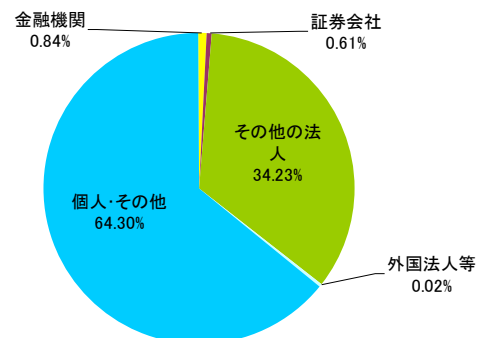


発行済株式数
60,480株

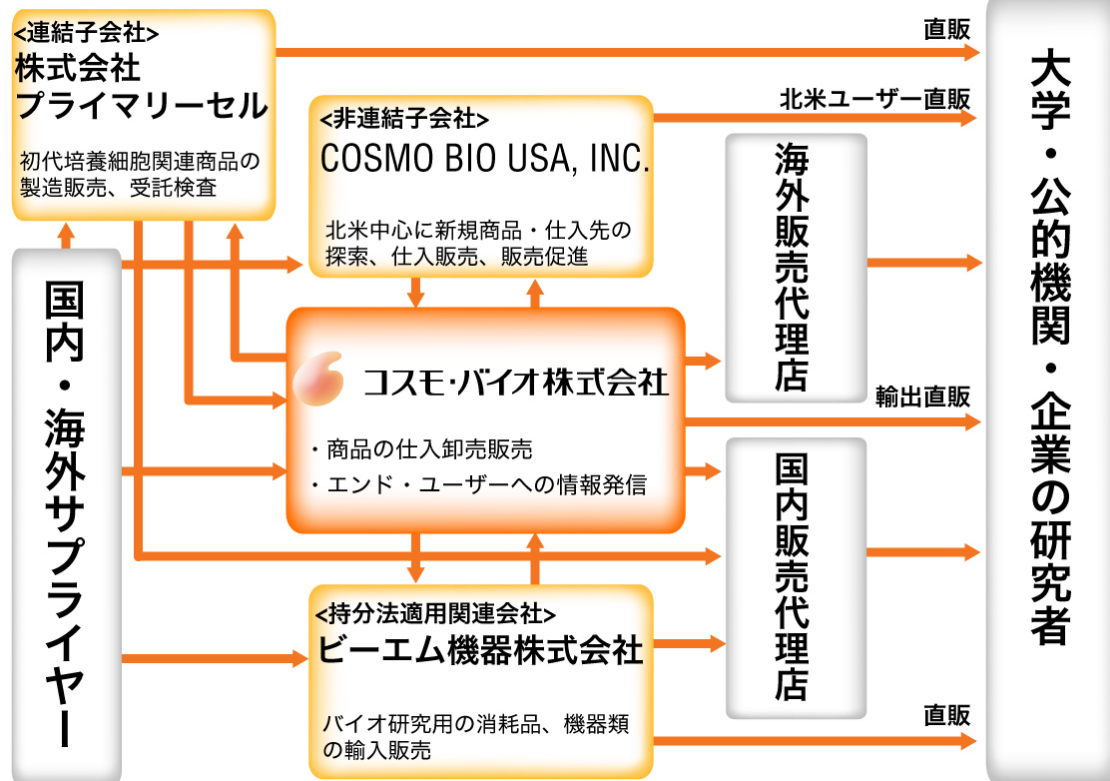
大株主状況

株主名	持株数(株)	持株比率
東京中小企業投資育成株式会社	11,520	19.0%
コスモ・バイオ従業員持株会	5,959	9.9%
コスモ石油株式会社	5,760	9.5%
福井 朗	3,000	5.0%
株式会社ブルボン	2,937	4.9%
原田 正憲	2,200	3.6%

所有者別株式分布状況



ビジネスモデル 「バイオ研究を支援する専門商社」



ビジネスの特徴 膨大な商品・情報と多様なユーザーニーズのマッチング

- ユーザーニーズに対応できる100万以上の豊富な商品
- 商品情報をデータベース化し、ユーザーが自在に検索可能
- 各種プロモーションツールによる専門性の高いサービス・情報の提供

〔ニーズとシーズのマッチング〕



主な商品の分類と売上構成

試薬
90%

汎用試薬
(バイアル単位で販売)
44%



応用試薬
(用途に合わせて試薬等を
セットにしたもの)
46%

創薬・受託
サービス



機器
6%

臨床検査薬
3%

2009年12月期 決算の概要

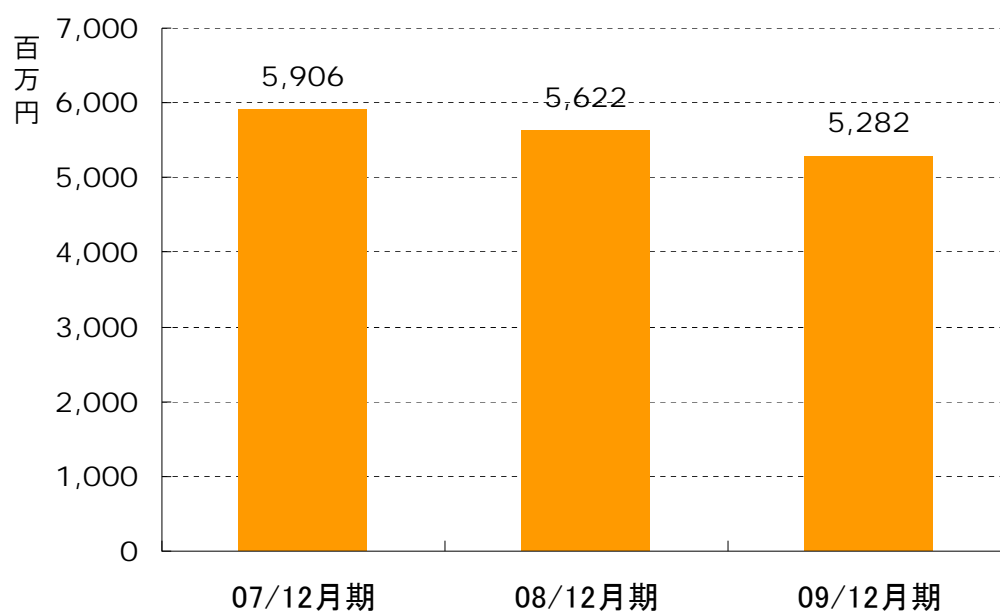
決算概況「連結損益計算書(前年同期比)」

(単位:百万円)

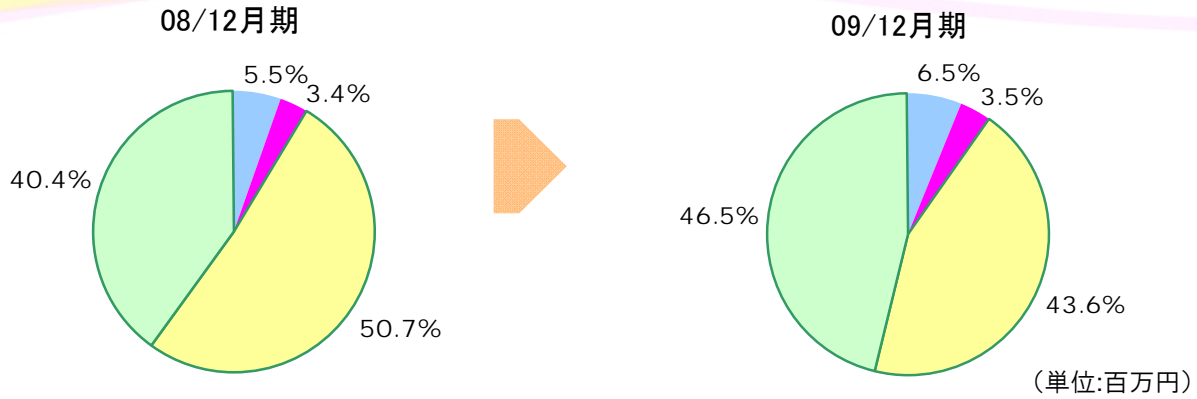
	08/12月期	09/12月期	増減額	前年同期比
売上高	5,622	5,282	▲340	▲6.0%
売上総利益	2,223	2,164	▲59	▲2.7%
販管費	1,775	1,707	▲73	▲4.1%
営業利益	447	456	9	1.9%
経常利益	464	445	▲19	▲4.1%
当期純利益	104	137	33	31.2%

連結売上高推移

- 仕入先の消失・競争の激化等により前年同期比▲340百万円となった



連結商品分類別売上高

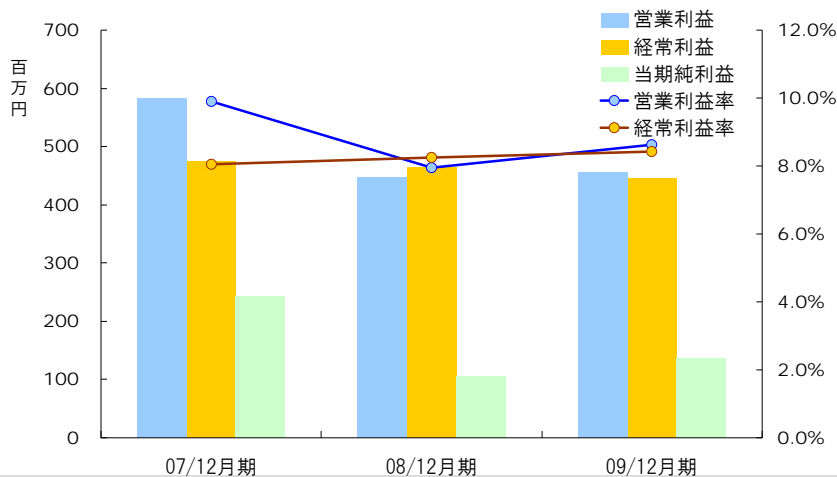


	08/12月期		09/12月期		増減額	前年同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
研究用試薬	5,121	91.1%	4,754	90.0%	▲367	▲7.2%
汎用試薬	2,850	50.7%	2,300	43.5%	▲550	▲19.3%
応用試薬	2,269	40.4%	2,453	46.4%	184	8.1%
機器	308	5.5%	343	6.5%	35	11.4%
臨床検査薬	192	3.4%	184	3.5%	▲8	▲3.8%
合計	5,621	100.0%	5,282	100.0%	▲339	▲6.0%

連結利益推移

(単位:百万円)

	08/12月期	09/12月期	増減額	前年同期比
売上高	5,622	5,282	▲340	▲6.0%
売上総利益	2,223	2,164	▲59	▲2.7%
販管費	1,775	1,707	▲73	▲4.1%
営業利益	447	456	9	1.9%
経常利益	464	445	▲19	▲4.1%
当期純利益	104	137	33	31.2%



•従来営業外費用に計上していた「たな卸資産廃棄損」は売上原価に計上
•営業利益は78百万円減少

•平成20年12月期に係る税務調査の指摘を受けたことに対する過年度法人税等約157百万円を計上

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	08/12月期	09/12月期	増減額
総資産	5,194	5,557	362
流動資産	3,927	3,908	▲19
固定資産	1,267	1,649	382
負債合計	1,009	1,237	228
純資産合計	4,184	4,319	134
株主資本	4,292	4,363	71
評価・換算差額等	▲108	▲44	64
自己資本比率	80.6%	77.7%	

連結キャッシュ・フロー計算書

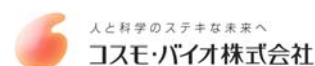
(単位:百万円)

	08/12月期	09/12月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	454	657	203
投資活動によるキャッシュ・フロー	185	▲383	▲568
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲151	▲66	85
現金および現金同等物の増加額	487	205	▲282
現金および現金同等物の期末残高	1,206	1,411	205

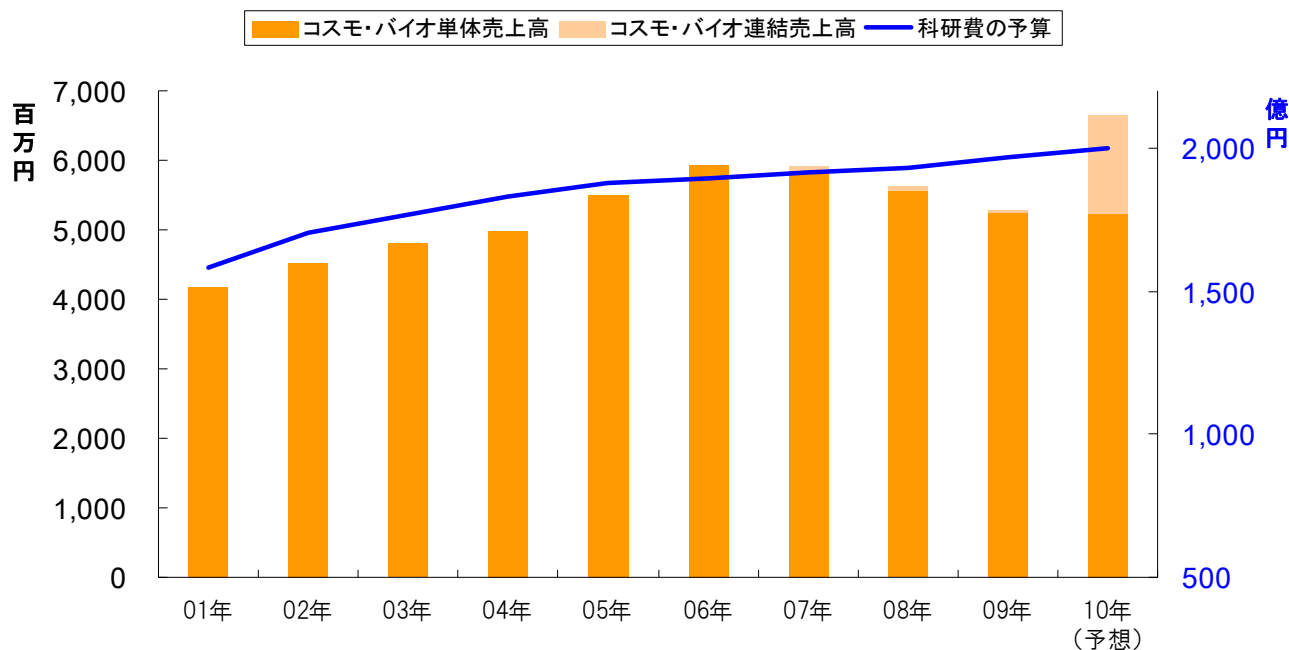
3. 2010年12月期事業計画



科学研究費補助金(科研費)と当社の売上高伸び率推移



■ 当社の売上高と科研費の伸びには相関関係が見られる



※科研費のデータは日本学術振興会ホームページより
 ※2001年-2006年は当社単体売上高

2010年12月期の連結業績見通し

(単位:百万円)

	09/12月期実績	10/12月期予想	対前年実績	
			増減額	増減率
売上高	5,282	6,659	1,377	26.1%
営業利益	456	456	0	▲0.1%
経常利益	445	446	1	0.2%
純利益	137	243	106	77.2%

	09/12月期	10/12月期(予想)
配当金	1,200円	1,200円
平均為替レート	09/12月期	10/12月期(計画)
円/USドル	94円	95円

第2四半期より持分法適用
関連会社のビーエム機器を
連結子会社化

目標達成に向けた今後の計画

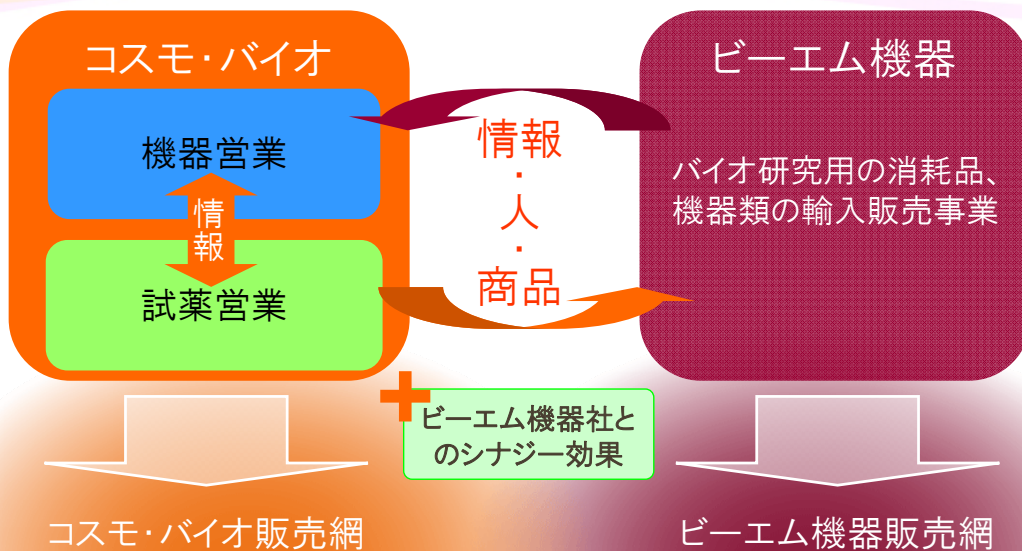
1. コア事業の強化
2. ブランドの創造
3. 海外展開の加速
4. 子会社、関連会社とのシナジーの創出

1. コア事業の強化「販売体制の強化」

- 先端的商品の充実、差別化したサービスと効果的なプロモーションによるビジネス基盤の強化
- 製薬企業を中心に、エンド・ユーザーに対し受託解析サービスなどの商品を、組織的提案型営業にて推進
- 当社の強みであるカタログ・WEBを使った効率的な販売活動の継続



1. コア事業の強化「機器販売の強化」



電気泳動装置
「i-MyRun」



超音波細胞破碎装置
「Bioruptor」

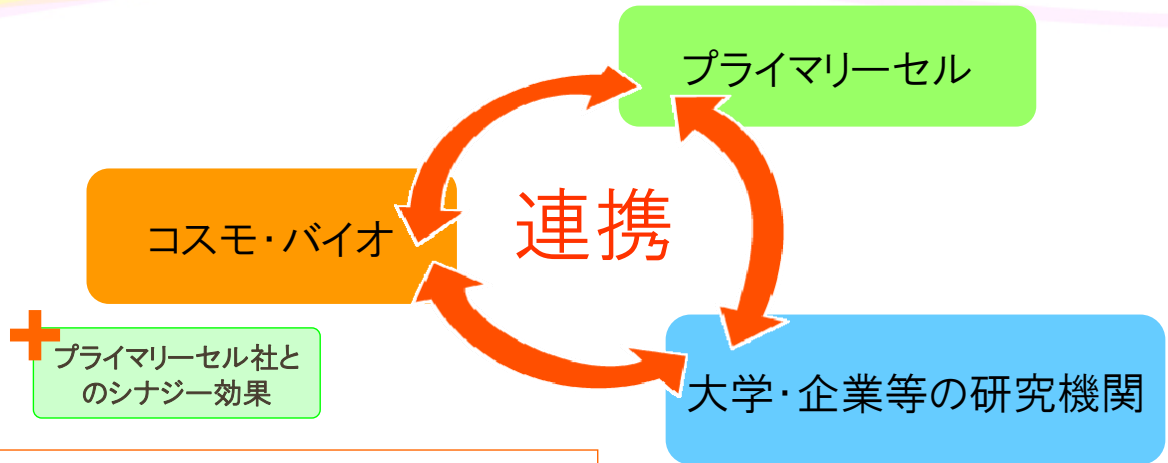


細胞イメージング
「ImageStream」

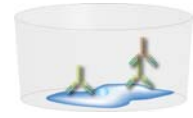


遺伝子導入装置

1. コア事業の強化「細胞関連分野の強化」



- セルベースアッセイ商品ラインナップの充実
- 各種細胞培養培地の開発・上市
- 細胞の生理活性を維持した状態での輸送容器の開発・上市
- ヒト細胞の輸入販売品目の充実及び、プライマリーセル社でヒト細胞を扱った受託サービスの拡販
- プライマリーセル社で幹細胞を各種臓器へ分化誘導するための試薬および培地の開発に着手



2. ブランドの創造「社会的貢献」

- 2004年からの大学等の教育機関が実施する青少年向けのバイオ公開講座への支援活動を継続実施
- アメリカ科学振興協会(AAAS)が、世界中のシグナル伝達の科学者たちのために創刊したオンラインジャーナル「Science Signaling」の日本語版サイトの継続提供



2.ブランドの創造「質の高い情報発信と顧客サービス」

■ 学術ミーティング

- 多数のミーティングにおいてセミナーの開催及び展示会への出展

学会名	開催日	会場	開催地
第38回フラレン・ナノチューブ総合シンポジウム	3/2(火)～3/4(木)	名城大学共通講義棟北館	愛知
第9回日本再生医療学会総会	3/18(木), 19(金)	広島国際会議場	広島
日本農化学会2010年度大会	3/28(日)～30(火)	東京大学駒場キャンパス	東京
第99回日本病理学会総会	4/27(火)～29(木)	京王プラザホテル	東京
日本発生物学会 第43回大会	6/20(日)～23(水)	国立京都国際会館	京都
第39回フラレン・ナノチューブ総合シンポジウム	未定	未定	未定
第14回国際免疫学会	8/23(月)～8/27(金)	神戸国際展示場	兵庫
第69回日本癌学会学術総会	9/22(水)～9/24(金)	大阪国際会議場	大阪
第33回日本分子生物学会年会 第83回日本生化学会大会	12/7(火)～12/10(金)	神戸ポートアイランド	兵庫

■ 印刷物

- 「コスモバイオニュース」やカタログの発行

■ WEB

- 検索システムの改良

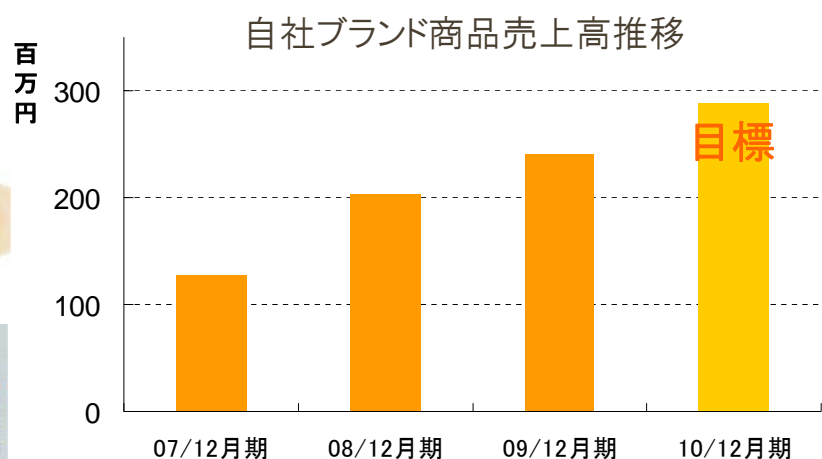
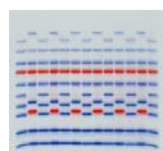


2.ブランドの創造「自社ブランド商品」

■ 高品質自社ブランド商品の充実

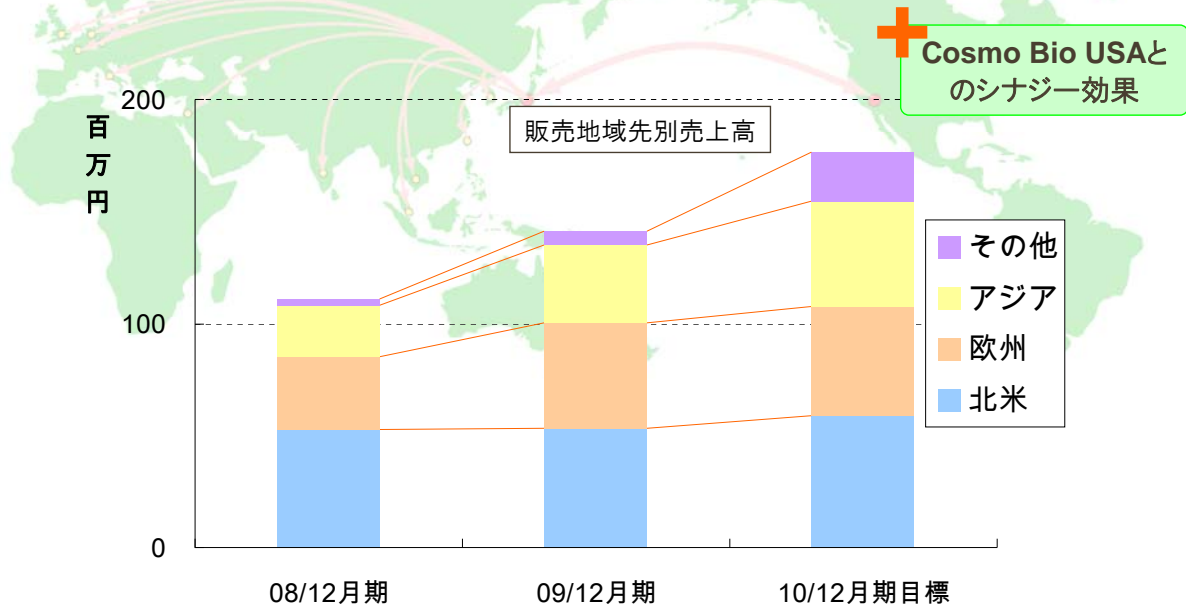
- グループ会社・関連会社間での自社商品の共同開発

■ 自社ブランド商品の売上拡大



3. 海外展開の加速

- 欧州とアジア地域にて販売代理店網を強化
- Cosmo Bio USAと連携した売上拡大
- Web、Eメール等を活用した効果的なプロモーション活動



4. 子会社、関連会社とのシナジーの創出

研究・開発・製造

プライマリーセル

初代培養細胞(プライマリーセル)の研究開発から
製造・販売および細胞を用いた受託解析を行う

コスモ・バイオ

ビーエム機器

バイオ研究用の消耗品、機器類の輸入販売事業を行う

COSMO BIO USA

新規サプライヤー探索と輸出促進を行う

機器販売

海外展開

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。